

105 コケゴロモ

(イタボガキ科)

兵庫県ランク:要注目

Ostrea circumpicta

環境省ランク:指定なし

種の概要

陸奥湾から九州に分布。潮間帯下部の岩礁、転石などの日陰になる部分に生息する。殻長70mm程度。殻は不規則な円盤状でやや厚く、膨らみは弱い。殻表は檜皮茸状でちぢれる。内面は白地に汚黄色を呈することが多く、赤褐色の模様がある。靱帯の両側に歯状の彫刻がある。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
			△	○			○

県内分布

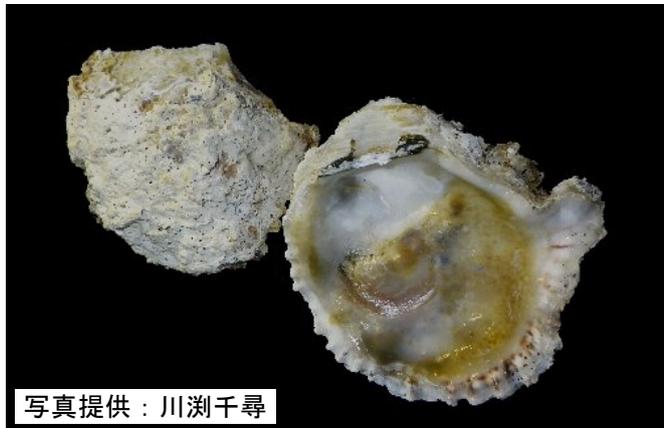
洲本市

県内における生息状況及びその他特記事項

新規追加種。淡路島中部の内湾に面した干潟の潮間帯下部にある壊れたテトラポッドの側面や海中に沈んでいたブロックの中などに固着しているのが確認されているが、生息地は限られ、個体数は少ない。

保護上の留意点

現状では主に、海中に敷設された人工物に固着しているが、生息地周辺においては、本来の岩場などの保全に努める配慮も必要であろう。



【執筆者】 川渕千尋